

HIDE'S NEWS

守谷市議会議員 わたなべ秀一

HIDEKAZU WATANABE

2019年
12月号



PROFILE

わたなべ 秀一

HIDEKAZU WATANABE

有限会社渡辺商店代表取締役
生年月日：昭和47年1月8日

守谷町立黒内小学校 卒業
守谷町立守谷中学校 卒業
茨城県立守谷高等学校 卒業
千葉商科大学経営学科 卒業
明治大学公共政策大学院 修了

守谷市商工会青年部 部長(H21~22)
がぶりメンチの考案&プロデュース
(社)常総青年会議所 理事長(H23)
※現在の(一社)茨城県南青年会議所
守谷市議会議員 初当選(H24)
守谷市議会議員 2期当選(H28)
都市経済常任委員会 副委員長(H30)
議会運営委員会 委員(H30)
常総広域市町村圏事務組合組合議員(H30)

はじめよう 未来のカたちづくり

〒302-0109 守谷市本町260
TEL.090-3234-2809
FAX.0297-48-1487
nabesta1211@yahoo.co.jp

🔍 わたなべ秀一 検索

※Facebookでも情報を発信しています

HIDE'S NEWS ついに東口市有地の利活用へ、選定業者が決定

守谷駅東口にある1.2haの市有地の委託先が、守谷駅東口市有地利活用事業プロポーザル方式審査の結果、大和リース株式会社に決定しました。



守谷駅東口にある1.2ヘクタールの市有地

評価の概要としては、オープンスペースの人を集める仕掛けと質の高い緑地空間が治安され、さらに提案内容全体のバランスの良さ

と高い組織力や財務力が長期にわたり安定的に事業運営が期待できると判断されたようです。また、飲食物販のテナント以外にも子育てを対象とするICTを活用した働き方支援施設を提案している点なども高評価に繋がりました。

HIDE'S EYE

委託先が大和リース株式会社に決まりましたが、他の自治体を真似ただけの公有地活用の二番煎じにはならぬよう注視していきたいと思えます。

大和リース株式会社には、守谷市ならではの特色を色濃く出して

ほしいと強く願います。

また、今回の選考で特に注視したいのが、次順位交渉者に選定されたのが市内の企業であったことです。守谷市内にある企業が代表になり、市内のまちづくり法人団体や都内の企業と連携した事業者が次順位に選定されたことは、守谷が少しずつ成熟してきた証だと、わたなべ秀一は捉えています。

今回は残念な結果になりましたが、まちの成長としては大きな功績だったと思います。



プロムナード（散歩道）などにも活かせる立地の市有地

HIDE'S NEWS

守谷市議会が始めた事業 評価。成果あらわる

平成25年から開始した事業評価の成果が少しずつ現れてきました。その中の一、平成29年に実施したアワーズもりや管理事業(守谷駅前賑わい創出事業)は、やっと今年度から安定的な収支が継続して見込めるようになりました。ずっと続いてきたマイナス収支に終止符が打てそうです。

要因は、医療モールを賃借している三井リース(株)との増額見直しと商業施設の管理委託をしてい



収支の改善が求められていたアワーズもりや

る大和情報サービス(株)との委託料の減額見直し、また三井不動産リアルティ(株)との駐車場賃借料の増額見直しなどの各事業者との契約内容の改善が挙げられます。またテナントの空き区画問題についてはリーシングの結果、ほぼ全てのテナントの入居が決まっています。



空き店舗がほぼ全て埋まったアワーズもりや (2019年11月撮影)

HIDE'S EYE

アワーズもりや管理事業の収支改善は、平成24年、わたなべ秀一の初選挙時の公約の目玉でした。時間はかかりましたが実現できて嬉しく思います。

中、より効率的・効果的な消防体制の運用並びに常総広域圏の消防力の強化を目的としています。

10月10日から11月11日にかけてパブリックコメントが実施され、これから策定をつづけて予定です。

HIDE'S EYE

消防力適正配置検討委員会の答申に、**新守谷の守谷消防署こみぎ野の南所**を統合して、松並地区付近に移転する計画案がありました。移転の時期は、守谷署の築年数が50年を迎える令和

17年の計画です。わたなべ秀一は、現在各所1台ずつ配備されている救急車の増車と高度な



新守谷地区にある守谷消防署

対応力を兼ね備えた救急隊の専任化を要望していきたいと考えています。



南守谷こみぎ野地区にある南守谷出張所

HIDE'S NEWS

最終ゴミ処分場を視察！

じつは守谷市が入る常総広域内は最終ゴミ処分場がなく、県内外4箇所へ分散処分委託をしています。

処分委託している県内処分場は2箇所あります。下妻市のイバラキ最終処分場と笠間市のエコフロンティアかさまです。それぞれの埋め立て残期間は、前者が約5年、後者が約7年あります。

自区内処理(自分の区で排出した

議員一人ひとりの権限はさほどあり

ませんが、議会には大きな権限があります。そのような背景で守谷市議会は**事業評価**という制度をつくりました。

事業評価とは、市がこれまでに執行した事業について、議会が第三者の立場で、適正かつ公平性および効率性をもつて行われているか監視し評価する制度です。議会として議決し、市長を長とする執行部に審査結果を提出してきた地道な取り組みが、やっと成果を見せ始めてきました。

HIDE'S NEWS

消防体制の見直しへ

消防基本計画案の策定

消防力適正配置検討委員会の答申内容を踏まえ、消防基本計画の案が策定されました。消防基本計画とは今後の救急需要の増加が想定される

ごみは自らの区で処理する」という原則から、今後、常総広域内での最終処分場整備の検討をしていくため、下妻市と笠間市の最終ゴミ処分場を視察つづけてまいりました。

HIDE'S EYE

2箇所を視察して非常に驚いたことは、最終ゴミ処分場が清潔であったことでした。異臭もありません。施設側の説明では、今後も災害ゴミの受け入れをするので、場合によっては埋立て残期間が早まるかもしれない、とのことでした。過去には、常総環境センター最終処分場の検討委員会を設置し、自前で処分場を持つことを検討した経緯がありますが、再び検討する時期にきていると、わたなべ秀一は考えています。

